奈良建設業会

安全パトロール〝現場視察〟

最後まで徹底した安全対策を

奈良建設業会（中村光良会長）は2月27日、奈良労働基準監督署と奈良土木事務所とともに、奈良市中町・石木町地内の『中町「道の駅」』の整備工事と舗装工事の現場で安全パトロールを実施した。作業環境や仮設通路、転倒・転落などの安全対策を点検し、現場環境を共有した上で、工期までの無事故・無災害の徹底を呼びかけた。

中村会長

川上専門官

六車所長

現場を入念にチェック

点検シートで安全対策を確認

今回のパトロールは、奈良労働基準監督署から川上友幸地方労働衛生専門官、奈良土木事務所から六車憲雄所長、植田芳弘次長、吉田和博主幹、長井斉工務第一課長が参加。奈良建設業会からは中村会長ら27名が参加した。

パトロールを行った中町「道の駅」は、県土マネジメント部の発注で整備工事は、工事延長250㍍、街渠工2415㍍、雨水排水工1221㍍、シェルター工6基、施工は森高・米杉特定建設工事共同企業体が担当。

舗装工事は、工事延長204㍍、アスファルト工1万4320平方㍍、半たわみ性舗装工744平方㍍、ブロック舗装工1890平方㍍、タイル舗装工1060平方㍍の概要で施工は、森高・山上・中西特定建設工事共同企業体が担当している。工期は3月11日まで。

現場では、工事概要や重点安全目標、当日の主な作業や工程などを確認。その後、現場の整理・整頓、保安設備、標識規格による標示、転倒・転落、接触の防止、安全確保や飛来落下防止措置ほか、安全点検シートの各項目を基に、それぞれの目線で入念にチェック。来年度オープン予定の道の駅「クロスウェイなかまち」の施設見学も行われた。

パトロール終了後は、現場事務所2Fにて、講評と安全講習、全体総括を行った。

冒頭、中村会長は、多忙な中の参加に感謝し「建設機械や重機を取り扱う建設業は危険と隣り合わせな面もある。作業時の基本ルールの徹底をはじめ、リスクアセスメントやKY（危険予防活動）など、一人一人の努力の積み重ねが安全・安心な現場形成に繋がる」と労働災害防止への更なる取り組みを促し「安全第一のより良い作業環境を築いていきたい。今日の安全パトロールを、日頃の安全活動の振り返りとして頂ければ」と挨拶。

川上専門官は「工事は終盤に向っており、直ちに改善が必要な箇所などはなかったが、出入り口の歩道整備で段差が見受けられた。歩行者や自転車等の通行時に転倒する危険性があるので照明などの注意喚起や段差部分を緩やかな傾斜にして頂ければ」と安全への注意を促した後、県内の労働災害状況の報告や足場からの墜落防止措置の強化についての説明を行った。

六車所長は「常々、安全パトロールの実施は大変意義深く貴重な機会だと考えている。現場や職場に戻られたら今日の安全パトロールの事を皆さんに伝えて欲しい」と述べた後、長は「安全パトロールの実施に感謝したい。引き続き労働災害防止に向けた更なる積極的な取り組みを、安全安心な職場環境づくりに努めて頂ければ」と締めくくった。

最後に吉田強安全委員

みんなでつなぐ安全の絆

視察後には講評や講習、全体総括を行った

現場の安全・安心、見える化に取り組んでいます

一般社団法人 奈良建設業会

| | | |